

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援・放課後等ディサービス SOALA宇美校				2025年 2月 12日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		運営基準である広さを確保しております。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		運営基準である管理者、児発管+2名の児童指導員の配置に加え、1名以上の児童指導員を配置しております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		段差の大きなところはステップを置いて対応しております。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		別室も設け児童の情緒面に寄り添った活動場所の分けも行っております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		別室も設け児童の情緒面に寄り添った活動場所の分けも行っております。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		課題点に目を向け職員間でミーティングを行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		保護者等向け評価表アンケートを集計し、HPへ掲載させていただいております。また疑問点、質問等いただきましたら真摯に向き合い対応しております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		日頃から情報共有を行い、改善点があればチームミーティングを行っております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5		相談所や関係機関からいただくお声を大事に業務の見直しを日頃から行っております。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		月1回に全体、年数回に階層別研修等、学習の機会を設けております。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		5領域に基づいた支援内容の作成、活動の発信を行っております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等ディサービス計画を作成しているか。	5		個別支援計画は半期に一度見直しを行い、その都度面談にてアセスメントを行っております。	
	13	放課後等ディサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		会議の場を設け職員全体の共通認識に繋げております。	
	14	放課後等ディサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		職員がいつでも確認できるようファイルに情報をまとめ、定期的に目的を確認することで共通認識を高めております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		社内共通ツールを用いて記録を残し把握しております。	
	16	放課後等ディサービス計画には、放課後等ディサービスガイドラインの「放課後等ディサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		ガイドラインを踏まえ必要な支援のご提供を行っております。作成後は面談にてアセスメントを行っております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		毎日の活動内容は職員間で話し合い月案を作成しております。	

	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	5領域に沿った活動内容のなかで固定化されないよう職員間で話し合いを行っております。パルクール、リズムジャンプなど新たなプログラムも導入し、職員研修の機会を設け、お子様にご提供しております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	1日の支援の活動の中に個別、集団活動どちらもを組み込み支援内容に沿って提供を行っております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	朝のミーティングで活動内容、活動の流れ、役割分担の確認を行っております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	社内システムやミーティングを通して共通認識を図り一貫した支援に努めております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	活動記録は毎日入力し支援計画を作成する際にも活用しております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	相談所の方と連携を図りモニタリング、保護者様へのヒヤリングを実施しております。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	ガイドラインの4つの基本活動を含めた総合的な支援を提供しております。お子様の発達段階に合わせた細かな内容を考え提供するよう努めています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	小さな目標を立て、スモールステップで成功体験を増やし、自信や自己肯定感へと繋げられるよう支援環境を整えております。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	担当者会議の前には利用児童の活動の様子、状況など共有し管理者、指導員等参加しております。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	必要に応じて支援の様子をまとめた資料を配布し、お子様の様子や課題点に向けた取り組みについて共有をしております。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	特に支援学級の先生方と、お子様の情報共有を密に行っています。行事等による下校時間の変更についても早期把握に努め柔軟に対応しています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	関わりが途切れないよう定期的な情報交換に努めております。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	相談所の方と連携し移行支援のお手伝いや保護者様へのサポートを行っております。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	専門性の高い意見を参考に事業所でも取り入れ連携を図っております。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	地域の公共施設を利用し他のこども達と接する機会を設けております。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	定期的に糟屋郡の地域自立支援協議会へ参加しております。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	写真やエピソードを交えて具体的にご様子をお伝えしております。また保護者様からのご意見をお受けし、課題点の見直しやご家庭でのアドバイス等を行っております。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	保護者会として『そあらのひろば』を定期的に実施しております。子育ての悩みや意見の交換の場としても活用されております。保護者様同士の連携の機会になればと思っております。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	契約時、ご説明をさせていただいております。	

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点の踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		アセスメントを元にお子様、ご家族様にとっての最善の利益を考え支援計画の作成にあたっております。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		アセスメントに基づいた放課後等デイサービス計画の作成をしております。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		必要に応じて相談支援事業所と連携を行い保護者様が安心して子育てに向き合えるようご支援しております。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5		「そあらのひろば」を通して、保護者様同士の交流、連携をお手伝いしております。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		事業所内において苦情窓口の設置をし、市町村の苦情窓口へのご案内も行っています。迅速かつ適切な対応に努めます。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		SNSを通して活動内容を発信しております。また保護者様には別紙で新聞を配布しております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		個人情報保護の同意書をもとに慎重かつ丁寧に扱っております。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		必要に応じて視覚情報の導入を行い意思疎通を図っております。	
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5		土曜日のイベントの際などに外部のゲストティーチャーを招いております。また、保護者様参加型のイベントにおいては兄弟児のお受け入れも行っています。	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		マニュアルをもとに毎月訓練を実施しております。イベントにも組み込み保護者様への周知も行っております。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		月に一回マニュアルを元に避難訓練、防犯訓練を行っております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		アセスメントにて服薬やてんかん等の状況を把握しております。職員間でも共通認識を図り、対応できるよう努めております。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		該当のお子様に関しましては保護者様とも情報共有を行いアレルギー食品の除去や代用品で対応しております。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		年間を通じた安全計画を実施しております。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		面談の際にご説明することで周知しております。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		ヒヤリハット記入の際は全体で対策や再発防止に向けた会議を行い記録を保管しております。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		マニュアルを元に虐待防止・身体拘束適正化委員会を設置し、会議の開催や虐待防止研修を実施しております。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		身体拘束の取扱いに関しましては全職員研修を受け、念頭に置いております。	